

平成25年 2月

藤原尚子 学位論文審査要旨

主 査 吉 岡 伸 一
副主査 廣 岡 保 明
同 花 木 啓 一

主論文

大腸がん早期発見のための便観察習慣化に向けた行動変容支援プログラム

(著者：藤原尚子、平松喜美子、花木啓一)

平成25年 米子医学雑誌 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、便観察の習慣化に向けた行動療法に基づく『行動変容支援プログラム』を作成し、便観察行動および保健行動を評価し、行動変容について検討したものである。行動強化の強化子として、便観察の意義説明、排便記録用の貼付シール貸与、訪問時の賞讃と励まし、便潜血検査を実施した。その結果、介入終了後1ヵ月で、「便観察の意欲」指標が対照群と比較し、有意に高値を示した。また、便観察日数と「便観察の自信」指標に有意な関連が示された。本論文の内容は、大腸がんの早期発見への便観察習慣の確立に自信や意欲を高めるプログラムが必要であることを示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。